

インターンシップ事前安全講習会報告 ～兵庫県立兵庫工業高等学校～

令和2年10月28日（水）に兵庫県立兵庫工業高等学校にてインターンシップ事前安全講習会を青年部会3名、親会より藤井経営委員長・高坂専務理事の総勢5名で行いました。

本年はコロナ禍の最中ということもあり、青年部側の出席者数を減らし、マスク着用徹底や密にならない配置を学校側と協議し、対策を行った上での開催としました。

事前安全講習会は、各企業での就業体験で建築現場などを訪問することもあり、そのための注意事項や安全講習を電気科の生徒を対象として毎年行っております。また、電気工事業に少しでも理解を深めてもらうために電気工事業についての説明も行っています。

当日の講習会では、教頭先生より挨拶、講師の紹介、また生徒代表による挨拶がありました。電業協会からは藤井委員長の挨拶の後、株式会社ニューテックの山中氏より講習を行いました。

現場作業にかかわる安全事項等についてのビデオ上映をし、現場での事故がどのような要因で発生するのかの安全講習が行われました。実際の事故の状況からそれに対する安全対策、また危険性の説明、また作業前の打合せの大切さを伝え、安全に作業を行うための環境作りをすることの重要性の説明をしました。そして今後仕事を行う上で、資格取得が何より重要な課題である事も合わせて説明しました。また、電気工事業について業界紹介の動画上映と説明を行い、リアルな電気工事業界について、生徒に認識して頂く良い機会になりました。



講習後は、座談会方式での質疑応答の時間を設け、電業協会1名と生徒6～7名の4グループに分かれて行いました。生徒からの率直な質問も受け付け、電気工事業界に興味を持っていただくような機会になりました。特にこのコロナ禍で他業界が大打撃を受けている中、電気工事業界に就職することのメリットについて明確に伝えられたのが例年より良かった点と考えます。

また、生徒側からは、社会人になる前に考えるべきこと、準備することについての質問が多かったような印象を受けました。特に資格取得の必要性について興味を持っている生徒が多い印象を受けました。併せて、若年者雇用促進に対してのヒントを我々も得られる貴重な機会になりました。3年前より行っている試みですが、座談会開催自体は学校側からも好評頂いており、次年度以降も継続していきたいと考えております。



閉会の挨拶では、小山青年部副会長より挨拶をし、生徒代表からインターンシップ事前安全講習会のお礼を述べて頂きました。生徒の皆さん、先生方と有意義な時間を共有できた事は私達にとって大きな成果でした。これからも青年部会の事業として、さらに内容を充実させていきたいと思ひます。